

## 第六章 結 語

以上「技師の現場報告」としての「國土計畫研究」である。

思考その他に於て不備な點は自から氣づき得た點でも可成りである。

たゞ然し一個の都市計畫技師として二〇年の經驗を通して云ひ度い事は

大東京に何等手を加へ得ざるものは國土計畫でない。

と云ふ事と、工業地方分散の重要な眼目として

工業の人的立地

農業との關聯

がある事の強調である。

更に「一際の國土計畫の最後の目的は大和民族の繁榮である。それは量のみの繁榮ではない質―それも「心の質」である。それは生活圏の計畫によつてのみ達せられる。」と云ふ事もそれ以上の強さで主張して置き度い。否。むしろ以上の縷々の解説も結局此れが云ひ度かつた丈である」と云ふ事が出来る。

以上に於て國土計畫に對する自分の解釋の大要を盡した。然しその中で自分は「生活計畫」及「地方都市振興」に關する項について尙云ひ度い事を殘した。

そしてそれが自分の此の著の主題でもあるので既に二三の方面で發表したそれ等に關する論文を改訂の上加へる事にした。従つて内容に多少の重複ある事は諒せられ度い。

## 第二部 國土計畫に關する特殊論考

### 第一章 國土計畫の最終課題たる「生活計畫」

について

#### 第一節 生活計畫

##### 一、生活計畫の要諦

「國土及國土に即する現象を動員し、これを國家その時の最大要請に應ずる様整備構成する國